

局間の連携と余裕をもった働き方を目指すオフィス改革

令和 6 年 3 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了	: 令和6年3月15日
対象人員	: 静岡県某部門 76名
対象面積	: 380㎡
委託業務	: 令和5年度静岡県庁 オフィス改革業務委託



執務スペース

コミュニケーションの活性化や業務に集中できる環境を目指し、フリーアドレスの導入や各種ワークポイントを設置。



受付

職員の在席状況が表示されるモニターを配置。来庁者は受付電話で職員を呼び出して対応する。



やぐらスペース

ルームインルームのゆるく仕切った空間を構築。チームの親密度と一体感を高め、イノベーションを育む環境を設えた。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

行政の生産性や県民サービスの向上に向けて、職員の働き方改革を推進している静岡県庁。数多くある取組の中には、職員の新しい働き方や新しいオフィスを整備することにより、職員一人ひとりの生産性向上や職員間のコミュニケーション活発化を目指す「オフィス改革」があります。

2023年には同じフロアで働く3局を対象としたオフィス改革を実施しました。今回の取組では「局間の連携促進」及び「余裕を持った働き方の実現」というコンセプトを掲げ、局間のコミュニケーションを活性化させ、局の垣根を超えて一体的に施策を推進する体制を構築することを狙いとしています。

新オフィスでは、異なる局が一体的に活用できるフリーアドレスを導入しており、連携促進に向けて、職員がコミュニケーションを取りながら働くことのできる空間を演出しています。

また、書庫等を50%以上削減することで空いたスペースを活用し、打合せスペースや集中ブース、上下昇降デスク等、フレキシブルに対応できる環境を整備しています。併せて、在席状況がモニターで共有できるシステムや電源供給できるモバイルバッテリー、モバイルモニター等の整備もしており、余裕を持った働き方の実現に取り組んでいます。窓際にはカフェスペースを設置し、そこに隣接して複写機やカラープリンターも置き、3局の自然な交流を促しています。

さらには、この執務環境を最大限に活用できるようにオフィス利用ガイドを策定しており、定期的な日々の課題の改善や新たなトライアルを実施し、より良い職場環境づくり・働き方の見直しに継続的に取り組んでいます。

局間の連携と余裕をもった働き方を目指すオフィス改革



やぐらスペース

利用人数や目的に合わせ、キャスター付き什器・ホワイトボード・モニターを組み合わせて、最適なコミュニケーションの場を構築。



モバイルバッテリー

ノートPCやスマートフォンなどへの充電、やぐらスペースに設置したモニターの電源として活用。



執務エリア

コミュニケーションの活性化や業務に集中できる環境を目指し、フリーアドレスの導入や各種ワークポイントを設置。



Wellbeingへの配慮

ゾーン毎に色分けされたタイルカーペット、インテリアグリーン、明るい配色の什器などを採用することで、開放的で明るく自由な雰囲気を演出。



モバイルロッカー

個人の書類や荷物はモバイルロッカーに保管。配布物は投函口より扉裏ポストに格納。



打ち合わせスペース(ソファ席)

受付近くに配置し、来庁者や職員の打ち合わせスペースとして活用。可動式テーブルや椅子を採用することで、人数に合わせてフレキシブルな運用が可能に。



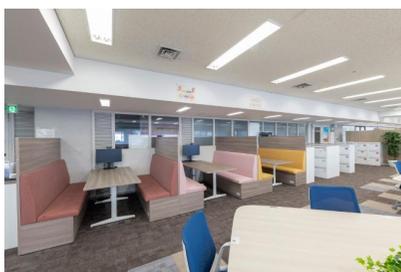
部室エリア

局ごとの部門利用のワークポイントや打ち合わせスペースとして活用し、業務連携を深める。



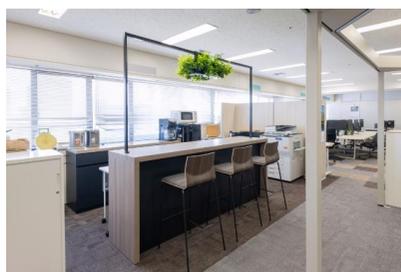
共有打合せスペース(クローズドブース)

ソファをローパーティションで仕切ることで、クローズドな打ち合わせスペースを構築。ソファを採用することで多少の増員にも対応でき、カジュアルな雰囲気を演出。



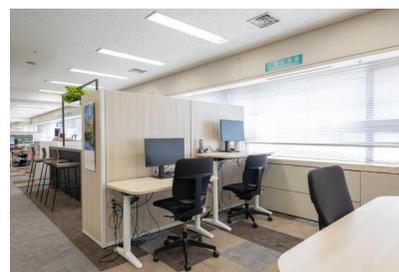
共有打合せスペース(ソファブース)

背面にパネルを備えることで周囲の視線を遮る。セミクローズな打ち合わせや複数名のWEB会議スペースとして活用。



カフェスペース

給茶スペースを1か所に集約し、休憩スペースとして利用することでコミュニケーションの活性化に繋げる。複写機等を近接に配置し、作業の合間の交流を促す。



上下昇降席

上下昇降デスクを採用することで、自身の使いやすいポジションに高さに変更することができ、気分の切り替えや疲労緩和につながる。



集中ブース

吸音効果のあるパネルにより周囲の音や視線を遮り、個人の集中作業WEBミーティングに最適なスペース。